学校番号	T3024

平成 31 年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現Ⅱ	2	３年次	Vivid English Expression Ⅱ（第一学習社）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語表現Ⅰで学んだ英文の作り方をもとに、英語の表現方法を広げるための授業である。そのため、自分が発信したい情報を簡潔に整理し、表現する言語活動を多く行う。

・会話に頻繁に用いられるフレーズを学習する。

・音読の際、相手に意味が正確に伝わるような発音を心がけるよう練習する。

2　学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【３年次】履修科目：「英語表現Ⅱ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
情報や考えをまとめ、発表することができる。 発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりすることができる。	インタビューテスト スピーチ	主題を決め、文章の構成を考えながら書くことが出来る。 図表との関連を考えながら書くことが出来る。	ライティングテスト 定期考査	対話や討論などを聞いて、情報や考えなどの概要・要点・詳細をとらえることができる。	リスニングテスト 定期考査	説明や評論などを速読し、情報や考えなどの概要・要点･詳細をとらえることができる。	リーディングテスト 音読テスト 定期考査

3　学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 Lesson 2 （９時間）	・時制 ・進行形 ・完了形 ・学校や日常生活についてのスピーチ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・グループワークにて発表者を決め、自分の学校生活に関する原稿を作成する。	テキストを利用して、相手に自分の言いたいことが正確に伝わる文法や語句の確認をする。	・グループワークにて発表者を決め、発表することが出来る。	・活動に対する取り組みを見て評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・英語における時制・進行形・完了形の概念を理解する。	・テキストおよびワークシートを利用し、動詞の形を適切に使い分ける。	・英語における時制・進行形・完了形の概念を理解している。	・ワークシートを提出させ、その内容を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・辞書を活用して語句の意味を調べる。	・テキストの設問を解き、分からない場合は辞書で調べる。	・辞書を活用して語句の意味を調べることが出来る。	・定期テストの筆記テストにおいて判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・動詞の形を使い分け、文章を作成できるようにする。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・動詞の形を使い分け、文章を作成できる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 3 Lesson 4 （９時間）	・完了進行形 ・助動詞 ・文化祭のコンサート後の会話 ・趣味のショッピングについてのスピーチ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・セクションごとに必要な英語表現をワークシートにメモをし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアワークの取り組みおよび、ワークシートを判断材料として評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・助動詞を活用し、表現に様々なニュアンスの違いを加える。	・テキストおよびワークシートを利用し、助動詞の意味や使用される場面を適切に使い分ける。	・助動詞を活用し、表現に様々なニュアンスの違いを加える。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料とし、同内容を定期テストの筆記テストで表現出来るかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・会話やスピーチを聞いて、内容を理解する。	・テキストの設問を利用し、本文の内容について答える。	・会話やスピーチを聞いて、内容を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・完了進行形の概念や使用する場面を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・完了進行形の概念や使用する場面を理解する。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7 (15 時間)	・受動態 ・進行形・完了形の受動態 ・to 不定詞 ・ロボット、尊敬する人物、勉強についてのスピーチ ・	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、自分の尊敬する人物について会話をする。	・ワークシートに原稿を作成し、ペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、自分の尊敬する人物について会話をすることができる。	・ペアワークの取り組みおよび、ワークシートを判断材料として評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・受動態や不定詞を活用して、英文を作る。	・ロボットと人間生活についての文をワークシートに書く。	・受動態や不定詞を活用して、英文を作ることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料とし、同内容を定期テストの筆記テストで表現出来るかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・スピーチを聞いて、内容を理解する。	・テキストの設問を利用し、本文の内容について答える。	・スピーチを聞いて、内容を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・進行形や完了形の受動態の持つ言葉のニュアンスについて理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・進行形や完了形の受動態の持つ言葉のニュアンスについて理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10 (15 時間)	・seem to 構文 ・It takes 構文 ・動名詞 ・公用語、職業、修学旅行の思い出についての会話	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、将来就きたい職業について会話をする。	・希望の職業に就くために必要なことを調べてワークシートまとめ、ペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、将来就きたい職業について会話をすることができる。	・ペアワークの取り組みおよび、ワークシートを判断材料として評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・seem to , It takes という構文を使って、分を作る。	・テキストの設問やワークシートを利用し、内容について答える	・seem to , It takes という構文を使って、分を作ることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料とし、同内容を定期テストの筆記テストで表現出来るかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・会話を聞いて、内容を理解する。	・テキストの設問を利用し、本文の内容について答える。	・会話を聞いて、内容を理解している。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・世界各国の公用語について調べ、情報を整理する。	・テキストやインターネットを利用してワークシートに整理する。	・世界各国の公用語について調べ、情報を整理することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。